

リレーションシップバンキングの機能強化計画について

当行では、平成15年8月に「リレーションシップバンキングの機能強化計画」(以下、「機能強化計画」)を策定し、中小企業の再生と地域経済の活性化に向けて様々な施策に取り組んでおります。



「機能強化計画」の概要

「機能強化計画」は、当行の経営目標である「地域から最も信頼され、地域に最も貢献する銀行」を踏まえ、中小企業の再生と地域経済の活性化等に向け、計画期間中(平成15年度～平成16年度)に当行が取り組む事項を取りまとめたものです。地域金融機関として、これまで以上に地域の皆様のお役に立てるよう、本計画を着実に実行していく所存です。

基本方針

- ① 人材の育成と態勢の整備に努め、企業のライフステージに応じた種々の問題解決型サービスの充実を目指します。
- ② 収益管理体制の整備を図り、採算性、効率性を重視した業務活動による安定した収益力の確保と財務体力の向上に繋げてまいります。
- ③ 試行、改善を通して蓄積した経験知を拡げ活用することにより、地域金融へのニーズに対し、的確かつ迅速な対応を目指します。

—— 中小企業金融の再生に向けた取り組み ——

- ① 人材育成を強化し、個々の職員の一層のレベルアップを図ります。
- ② 本部内に企業サポート情報を集積、活用する「情報センター」を設置し、取引先企業からの経営相談等に的確かつ迅速に対応できる体制をつくります。
- ③ 産学官、政府系金融機関等との連携を強化し、多様なサービスの提供に努めます。
- ④ 平成15年4月より取扱いを開始した無担保・第三者保証人不要の事業性貸出「サポートみやぎ」等、新たな融資手法に積極的に取り組みます。

—— 健全性の確保、収益性の向上等に向けた取り組み ——

- ① 過去の担保不動産の処分実績を検証し、担保評価方法の見直しを検討します。
- ② 取引先企業の信用格付登録を推し進め、信用格付制度の一層の充実を図ります。
- ③ 信用格付データの整備、充実に努め、同データを審査業務、企業支援、商品開発等に活用します。

「機能強化計画」の進捗状況(平成15年度)

当行では、経営目標に基づき日頃より地域に密着した業務活動に努めてまいりました。機能強化計画はそのような日頃の活動の更なる活性化を目指したものであり、平成15年度におきましては、地域の皆様の様々なニーズにお応えすべく、種々の施策に取り組みました。

主な取り組みは下記のとおりですが、平成15年度に予定しておりました取り組みはほぼ実行いたしました。今後も、機能強化計画の基本方針に則り、着実に計画を進めてまいる所存です。

中小企業金融の再生に向けた取り組み

創業・新事業支援、経営相談、早期事業再生等の機能強化

- 人材の育成への取り組み
 - ・ 上記機能向上に向けた行内外の研修に延べ153名が参加、関連通信教育を延べ304名が受講しました。
- 業種ごとのスペシャリスト育成および組織体制の強化
 - ・ 平成15年9月より本部の審査体制を見直し、業種別審査体制の試行を開始しました。
- 外部機関との連携強化
 - ・ 政府系金融機関と協調して企業再生に向けた融資へ取り組みました。

要注意先債権等の健全債権化等への取り組み

- 企業支援への取り組み
 - ・ 平成15年8月に企業支援室を1名増員するとともに、企業支援プロジェクトチームを再編成(2名増員)し強化しました。
 - ・ 企業支援室、企業支援プロジェクトチームが営業店と連携を密にし、お取引先企業と協調し、支援対象341先のうち38先の債務者区分がランクアップいたしました。

新しい中小企業金融への取り組み

- 「サポートみやぎ」の発売
 - ・ 信用格付けを活用した無担保・第三者保証人不要の事業性貸出「サポートみやぎ」を平成15年4月より発売し、平成15年度における取扱件数、取扱額は1,412件、101億円となりました。

健全性確保、収益性の向上等に向けた取り組み

資産査定、信用リスク管理の厳格化

- ・ 自己査定の適正化、精度向上を図るため、平成15年7月に全店集合研修を実施いたしました。
- ・ 平成14年5月に稼動しました不動産担保評価システムの浸透を図りながら、担保評価方法の合理性と処分実績から見た評価精度の検証を行いました。

地域貢献に関する情報開示

- ・ 平成15年7月に発行いたしましたディスクロージャー誌、および同年7月、12月に発行いたしましたミニディスクロージャー誌に、より詳しい情報を掲載いたしました。

「リレーションシップバンキングの機能強化計画」については、当行ホームページでもご覧いただけます。
ホームページ<http://www.sendaibank.co.jp/>